

# ふたつの柱

—江戸絵画／現代美術をめぐる

2016年6月1日[水] → 6月26日[日]

【会期】2016年6月1日(水)～6月26日(日)

【開館時間】10:00～18:00(金・土曜日は20:00まで)＊入場受付は閉館の30分前まで

【休館日】6月6日(月)

【観覧料】一般200円(160円)、大学生150円(120円)

＊( )内は団体20名以上の料金

＊千葉県在住の65歳以上の方、小・中学生、高校生、および障害者手帳をお持ちの方とその介護者1名は無料



中西夏之《中央の速い白Ⅷ》1990年

## 展覧会概要

本展では、千葉市美術館のコレクションの「ふたつの柱」ともいえる、江戸絵画と現代美術をあわせて展示します。

展示室では、現代美術、江戸絵画をそれぞれのセクションでご覧いただいたあと、風景をテーマにしたもの、モノクロームの作品、私たちを取り巻く日常を題材にとるものなど、いくつかのテーマに沿って、江戸絵画と現代美術を同じ空間に取り合わせ、お楽しみいただけます。

普段並ぶことの少ない作品同士の競演によって、時を経て大きく変化した美術のかたちを感じていただくとともに、その中でなお変わらないものを考えたり、意外な共通点を見つけたりと、様々な切り口からコレクションを眺めます。

雨の季節、美術館に散歩に出かけるようなくつろいだ気持ちで、作品との出会いをお楽しみください。

## みどころ

### ・江戸絵画と現代美術、共通する「ものがたり」

江戸絵画と現代美術…時代は約200年も離れ、どちらのファンからも「江戸絵画って／現代美術って難しい!」と思われがちです。でも、本当に何の関係もないジャンルでしょうか?

展示室では、まず江戸絵画・現代美術をそれぞれのセクションでご覧いただき、その後いくつかのテーマ「風景」「季節感」などにそった両ジャンルの作品を同じ空間に取り合わせることで、新たな魅力に触れていただこうという試みです。

### ・コレクションの「ふたつの柱」

タイトルの「ふたつの柱」は、所蔵作品の分野を指しています。千葉市美術館では「近世～近代の日本絵画と版画」「現代美術」「房総ゆかりの作家・作品」の3分野を基本方針として収集。これらコレクションの「3つの柱」から、今回は江戸絵画と現代美術あわせて約150点をご紹介します。



曾我蕭白《獅子虎図屏風》左隻 宝暦期(1751-64)頃

### ・「いつも」の作品も、「ひさしぶり」の作品も

千葉市美術館のコレクションは現在約9,000点。それだけの数がありますから、作品によって展示回数には違いがあります。昨今人気の伊藤若冲や曾我蕭白、葛飾北斎らの作品はほぼ毎年展示していますが、一方の現代美術では普段なかなか展示する機会の少ない作品も。展示が困難な作品や、海外の作家ではダン・グレアム、トーマス・ルフらの作品は約10年ぶりの展示となります。

## 関連企画

### ◆市民美術講座『『ふたつの柱』のむこうがわ』

2人の担当学芸員がみどころ、展覧会の舞台裏を語ります。  
6月11日(土)／14:00～(13:30開場予定)／11階講堂にて／先着150名  
聴講無料  
講師：畑井恵、松岡まり江(当館学芸員)

### ◆ギャラリートーク

担当学芸員による：6月1日(水)14:00～  
ボランティアスタッフによる：会期中の毎週水曜日(6月1日を除く)  
14:00～  
※水曜日以外の平日の14:00にも開催することがあります。  
※混雑時には中止する場合があります。

### ◆鑑賞ワークショップ「いっしょに見るとたのしいね(^ ^)」

6月4日(土)、6月18日(土)／各日14:00～(1時間程度)／展示室にて  
先着10組(20名)／参加無料(ただし観覧券が必要です)  
対象：小学3年生以上／事前予約制(定員に空きがある場合は、当日会場にて追加受付)  
鑑賞ツールを使って、展示作品を楽しく見ていきます。ふたりでおしゃべりしながら見たり、違う場所から同じ作品を見てみたり。いつもとはちょっと違った見方で、美術館を楽しんでみませんか？  
※2人1組でお申し込みください。

#### 【申込方法】

- ◆ 電話から：千葉市美術館(043-221-2311)へお電話いただき、参加希望日・氏名・年齢・電話番号をお伝えください。
- ◆ ホームページから：当館ホームページで詳細をご確認の上、メールフォームよりご予約ください。申込受理メールをもって予約受付完了となります。

## 記者レクチャー

報道関係の皆様を対象に、披露説明会を行います。スライドレクチャーにて作品の見どころを担当学芸員よりご説明し、その後展示室をご覧ください。

5月31日(火)／15:00より(1時間程度)／10階会議室にて(その後、8・7階展示室へご案内いたします)

参加ご希望の方は同封の申込書に必要事項をご記入の上、FAXにてご連絡ください。

## 次回展予告

### 次回展予告

「河井寛次郎と棟方志功：日本民藝館所蔵品を中心に」7月6日(水)～8月28日(日)



河井寛次郎《呉須辰砂面取小壺》  
日本民藝館蔵

## 交通案内

千葉市美術館  
〒260-8733 千葉市中央区中央3-10-8  
Tel. 043-221-2311 (代) / FAX. 043-221-2316 / <http://www.ccma-net.jp>

### ◎ JR 千葉駅東口より

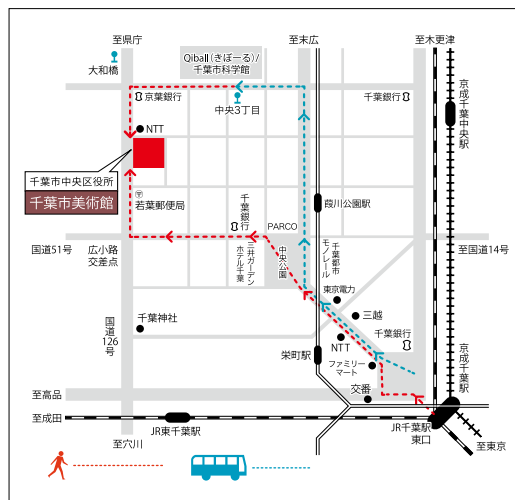
- ・徒歩約15分
- ・バスのりば ⑦ より大学病院行または南矢作行にて「中央3丁目」下車徒歩約3分
- ・千葉都市モノレール県庁前方面行「よしかわ霞川公園駅」下車徒歩約5分

### ◎ 京成千葉中央駅東口より徒歩約10分

◎ 東京方面から車では京葉道路・東関東自動車道で宮野木ジャンクションから木更津方面へ、貝塚IC下車国道51号を千葉市街方面へ約3km、広小路交差点近く

### ◎ 千葉市中央区役所と同じ建物です

◎ 地下に区役所と共有の駐車場がありますが、混雑が予想されますので、なるべく公共の交通機関をご利用ください

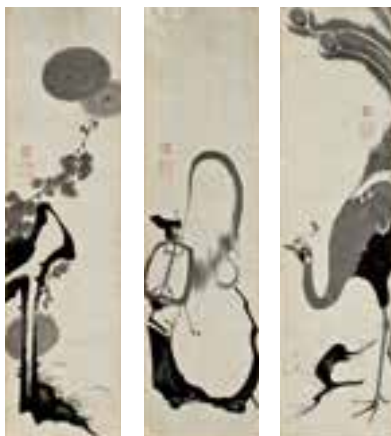


展覧会広報用として作品画像をご用意しております。是非、本展をご紹介しますようお願いいたします。ご紹介いただける場合は、別紙の申込書に必要事項をご記入の上、FAXにてご連絡ください。画像の使用は1回限りとし、展覧会紹介の目的にのみご使用ください。

ふたつの柱 ー江戸絵画／現代美術をめぐる



1. 鎌形蕙斎《草虫図》文化(1804-18)後期～文政7(1824)頃



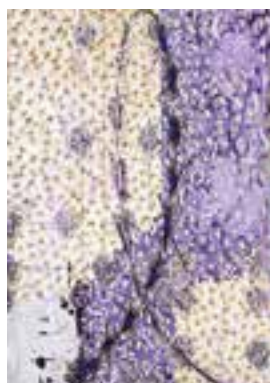
2. 伊藤若冲《寿老人・孔雀・菊図》宝暦(1751-64)末頃



3. 葛飾北斎《富嶽三十六景 相州七里浜》天保2～4年(1831-33)頃



4. 曾我蕭白《獅子虎図屏風》左隻 宝暦期(1751-64)頃



5. 中西夏之《作品一たとえば波打ち際にてIX》1985年



6. 中西夏之《中央の速い白 VIII》1990年



7. 桑山忠明《Silver》1974年



8. トーマス・ルフ《室内》1982年



9. ダン・グレアム《円形の入口のある三角柱(ヴァリエーションE)》1997年

ふたつの柱 ―江戸絵画／現代美術をめぐる  
広報用画像データ・プレゼント用招待券申込書

■ 写真ご使用に際してのお願い

- \* 作品写真の使用は、本展のご紹介をいただける場合のみとさせていただきます。
- \* 写真のご利用は、1 申込について 1 回とし、使用後のデータは破棄してください。
- \* 基本情報確認のため、広報担当まで一度校正紙をお送りください。
- \* 掲載後、広報担当まで見本誌をご送付くださいますようお願いいたします。
- \* お手数ですが、招待券プレゼントの受付、発送などは、貴編集部にてお願いいたします。  
原則として、掲載紙をご送付いただきました時に招待券をお送りいたします。

千葉市美術館  
広報担当 行  
FAX: 043-221-2316

貴社名：	媒体名：
ご担当者名：	発行予定日：
TEL：	発行部数：
FAX：	定価：
Email：	掲載予定コーナー名等：
画像到着希望日： 月 日 時まで	画像の掲載サイズ <small>(おおよそで結構です 例：5cm 四方、など)</small> ：

■ 画像データ申込 (ご希望のデータの番号に○をつけてください。)

1. 鎌形蕙斎《草虫図》文化(1804-18)後期～文政7(1824)頃 千葉市美術館蔵
2. 伊藤若冲《寿老人・孔雀・菊図》宝暦(1751-64)末頃 千葉市美術館蔵
3. 葛飾北斎《富嶽三十六景 相州七里浜》天保2～4年(1831-33)頃 千葉市美術館蔵
4. 曾我蕭白《獅子虎図屏風》左隻 宝暦期(1751-64)頃 千葉市美術館蔵
5. 中西夏之《作品一たとえば波打ち際に IX》1985年 千葉市美術館蔵
6. 中西夏之《中央の速い白Ⅷ》1990年 千葉市美術館蔵
7. 桑山忠明《Silver》1974年 千葉市美術館蔵
8. トーマス・ルフ《室内》1982年 千葉市美術館蔵
9. ダン・グレアム《円形の入口のある三角柱 (ヴァリエーションE)》1997年 千葉市美術館蔵

■ プレゼント用招待券申込

(ご希望の場合はチェックをつけてください)

5 組 10 名様分 希望します。

(それ以外の枚数が必要な場合は別途ご相談下さい。)

チケット送付先  
ご住所：〒

問い合わせ先

千葉市美術館 〒260-8733 千葉市中央区中央3-10-8

Tel. 043-221-2311(代表) / 043-221-2313(直通)

Fax. 043-221-2316

HP. <http://www.ccma-net.jp/>

広報担当：磯野 愛